

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートていーだ鈴木教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 16日		2026年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年 1月 16日		2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもと向き合い、実践的な支援おこなっている ・気持ちに変化が起きそうな時の対応を職員と一緒に考えている ・生きる力を身につけて行く支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・起こることを想定して、対応方法を職員で意見を出し合い数パターンを準備しておく ・自由あそび時にこども同士のトラブルや不穏時に状況に合わせて対応し、思いを引き出せるところまで向き合っている ・自傷行為がみられる3名が頻回に起きていたのが、事業所では消失、学校では月1回〜なし、家庭でも減ってきている 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での共通認識を持ち、状況に合わせた対応を瞬時に判断していく ・目線で職員配置の移動をよりスムーズにおこなえるようにする
2	<ul style="list-style-type: none"> ・祝日に戸外活動を計画して経験を増やす ・保護者様のレスパイトケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後では経験ができないことへの挑戦をおこなっている ・乗馬体験、電車での外出、スケート体験などを体験し、会話の引き出しを増やし、経験を積むことで自信を持ち行動できるようにする ・職員とこどもたちでの戸外活動をおこなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭では経験できないことを計画してくれている事への感謝の言葉をいただくため、更なる経験を積めるように情報収集をおこない固定化しない計画を立てていく
3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様同士が関わりを持つ機会を設けている ・年に2回の保護者ネットワーク、ていーだカフェの開催 ・3教室合同での秋まつりの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者ネットワークていーだカフェでは外部講師をお招きして研修会と相談会、保護者様の座談会で悩み事や情報提供・共有をおこない繋がりを持つ会をおこなっている ・ていーだカフェの際にTシャツづくりの親子行事も取り入れた、秋まつりでは親子参加型の企画を考えて一緒に楽しめるお祭りにした 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋まつりは回数を重ねるごとにクオリティが高くなり、来年度は今年度を超えるお祭りを企画していく ・親子で参加することで家庭や学校で見られない表情を引き出していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流が少ない ・事業所での活動や過ごし方を周知して理解や災害時の協力に繋げたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍や感染症の不安がある世相だった、その中でおこなうことに懸念があった ・付近に学童があるが、交流を図るために手続等があることを考えると業務を増やしてしまうのではないかと言い出せずにいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用時にゴミ拾いをおこない、地域の方が利用時は挨拶をかわし、交流のきっかけになればと考える ・はじめから無理だと思わずに話を持っていってみる ・学童へお声がけするには目的や内容を文書にして分かりやすく準備する必要がある
2	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の事故防止マニュアル、緊急対応時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルがあるが保護者への周知できる場を提供を十分に出来ていない ・定期的な訓練の周知が十分ではない 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的訓練はおこなっているが、周知や説明の場が電子記録内になり未読のご家庭があった 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPやSNSを活動して発信していく ・面談や送迎時に周知するようにする
3	<ul style="list-style-type: none"> ・基準は満たしているが、成長と共に狭く感じている ・気持ちが不安定な時に使用する部屋はあるが音が気になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・声や行動が大きくなること ・支援室を区切った所で壁にボールが当たる音や壁でリズムをとってあそぶことがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティションを使用して活動の場を区切るなどの検討 ・自由あそび時の支援室の使用約束をこどもたちと一緒に決めていく